

## I 学校経営の基本構想

### ▼1 本校学校経営の基本

- ① 公教育としての基盤に立つ学校
  - 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領等の教育関係諸法規や、福岡県教育委員会及び古賀市学校教育施策に基づき人権尊重の精神を基盤とした教育を行う。
- ② 現代社会の要請に応える学校
  - 豊かな未来を創り出す「生きる力」を育むことをめざし、知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性等の資質能力を身に付けさせる教育に努める。
  - GIGA スクール構想に基づき、子どもたち一人一人の資質・能力を一層確実に育成するために ICT を活用する。
- ③ 地域とともにある学校
  - 学校と保護者と地域の方々がともに知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」をめざすコミュニティ・スクールを推進する。
  - 古賀北中学校区共通の児童生徒像である「自ら学ぶ子」「挨拶する子」「掃除をする子」の具現化に向け、古賀北中学校区連絡協議会での「協育」を中心として、人権教育を柱とした小・中学校間のより強固な連携を大切にし、保護者や地域の期待に応える教育を行う。

### ▼2 学校の教育目標

#### 地域を愛し、美しい心と元気な体を持ち、共に高め合う子どもの育成

- 「地域を愛し」とは、自分が育ったふるさと古賀の「ひと（自分・家族・友達・教師・地域）・こと（学校行事・地域行事）・もの（校舎・校庭・地域環境）」に尊敬と愛着を感じ、古賀の児童であることに誇りと自信をもち、自尊感情が高まった子どものことである。
- 「美しい心と元気な体をもつ子」とは、人間のもつ心の崇高さや自然のすばらしさへの感動や畏敬の念、さらには健やかな身体と社会規範を守る強靱な意志をもち、自ら生きる目標を求めてその実現に努める子どものことである。
- 「共に高め合う子」とは、仲間との切磋琢磨を通して、生きて働く知識や技能を修得しながら思考力、判断力、表現力を伸ばし、学びを生かそうとする子どものことである。

### ▼3 目指す児童像

- ① 学びをはたかせる子ども **【知育】**
  - 意欲をもって取り組み、自分の思いや考えを創り出し表現する子
  - 知識・技能を生かし、他者と考えを練り合いながら主体的に課題解決しようとする子
- ② 認め合う子ども **【徳育】**
  - 相手を大切にし、互いに支え合い、磨き合い、響き合う子
  - 進んで明るく立ち止まって挨拶し、場や相手を考えた言葉遣いをする子
- ③ 鍛え合う子ども **【体育】**
  - 自己の目標の実現に努め、元気いっぱいに行動し、自尊感情を高める子
  - 心身の状態を正しく知り、けが、事故や病気から自分を守ろうとする子

#### ▼4 目指す学校像

- 子どもの挨拶や歌声、笑顔があふれる明るく活気ある学校
- 子どもが「わかる、できる」授業やいじめ、ひきこもりのない、愛情と信頼に満ちた学校
- 掃除が行き届き、環境が整った学校
- 家庭、地域と連携した学校づくりを進めるコミュニティ・スクール

#### ▼5 目指す教師像

- **学校は子どもが育ち、教師が育つ場である。**「学ばない教師の下で子どもは学べない」「育たない教師がいる学校で子どもは育たない」ことを肝に銘じ、全職員がチーム意識をもち、互いに高め合い、互いへの尊重を基盤に知恵を出し合う教師集団でありたい。
- **「子どもの心に火をつける」教師をめざして**  
ウイリアム・ウォード（米国：教育者）の言葉 「平凡な教師は言って聞かせる。よい教師は説明する。優秀な教師はやってみせる。しかし、最高の教師は子どもの心に火をつける」
- **教師の「率先垂範」は最善の指導である**  
始業前に教室の前に立ち、チャイムと同時に授業を終わると子どもは時間を守るようになる。このように教師が自ら態度で示すことで子どもたちに自然とモデルとなりできるようになる最も効果的な指導となる。

#### ▼6 目指す家庭像

- 親子の会話を積極的にする家庭
- あいさつなどの基本的生活習慣の模範を示し、「早寝早起き朝ご飯」を実践する家庭
- 学校や地域と協働して子育てを行う家庭

#### ▼7 教育課題と経営課題

##### (1) 教育課題

- 積極性や主体性、創造力の向上
- 学力低位層の学力向上と体力の向上
- 児童一人一人の人権意識の高揚
- 外国籍児童増加による関係づくり
- 特別に支援が必要な児童の自立

##### (2) 経営課題

- 目標の共有化と取組の徹底
- 学年主任のリーダーシップとチーム意識の向上
- 新学習指導要領の確実な実施と社会に開かれた教育課程の編成及び With コロナへの対応
- 校務分掌組織の DoCAP 方式の確実な実施
- 子どもたち一人一人の学びを最大限に引き出す実践的指導力の一層の向上
- 子どもと向き合う時間の確保と教育の質を高める働き方の定着
- 風通しのよい職場づくりと不祥事防止の徹底

## Ⅱ 令和3年度の重点目標及び経営の重点

### ▼1 本年度の重点目標

学びをはたらかせ、認め合い、鍛え合う子どもの育成  
～読書×挨拶×正しい行動＝笑顔いっぱいの舞っ子～

### ▼2 経営の重点

- リーダーズ・ミーティングをはじめとする分掌組織における重点目標の評価・改善の充実
- 社会に開かれた教育課程の編成と確実な実施
- すべての子どもたちの可能性を引き出し、主体性や創造力を伸ばす教育活動と指導法の工夫
- 算数科を中心とした指導方法や指導体制の工夫改善などの指導の充実（研究発表会実施）
- 個のニーズが必要な児童に対する個別的教育指導計画に基づいた支援の充実
- 福岡県・福岡地区小学校道徳教育研究大会会場として道徳科指導の充実
- 業務の効率化を図り子どもと向き合う時間の確保と教育の質を高める働き方の定着
- 目的を共有し、決めたことが教室の隅々まで実践される組織力の向上

## Ⅲ 重点目標達成のための教育活動

### ▼1 学びをはたらかせる子どもを育てる教育活動

#### (1) 到達目標

- ◎ 学びをはたらかせる子ども 【総合評定3.3】
- 自分の考えを書いたり、ノートを見ずに説明したりする子ども 【総合評定3.5】
  - ・古賀市標準学力テストにおいて前年度同一集団のポイントを1ポイント以上アップ
  - ・算数の単元テスト平均90点以上
  - ・新出漢字の8割が書ける子ども100%
  - ・年間の読書冊数平均100冊以上 80%
- 友達の考えをよく聴き、協働で考えを深める子ども 【総合評定3.5】
  - ・身体を向けて話が聴ける子ども 100%
  - ・友達の発言につなげて発言できる子ども 90%

#### (2) 具体的な取組

- ア 重点目標達成に向けた授業づくりの充実
  - 知識・技能を身に付け、思考力を育む舞スタンダードとシェア活動の工夫
  - 習熟の程度に応じた指導や5、6年生を中心とした教科担任制や1年～4年生の交換授業実施
  - パソコンや電子黒板などのICTの80%以上の活用とプログラミング教育の推進
  - めあてやまとめ、ノートの書き方、学び方や学習規律を重視した授業の日常化
- イ 基礎学力の定着を図る取組の推進
  - 舞の里小学校「学び方の基本」の定着度100%
  - 長期休業前の算数週間、休業明け課題テスト(4～6年)の実施
  - 北中校区「家庭学習のすすめ」をもとにした家庭学習の実施・評価・改善
  - 朝の活動や読書ボランティア、図書委員会等による読書活動の推進
  - 表現力、発言力、聴く力を伸ばすシェアタイムの充実

## ▼2 認め合う子どもを育てる教育活動

### (1) 到達目標

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| ◎ 相手を認め合う子ども             | 【総合評定3. 3】          |
| ○ 自尊感情を高めている子ども          | 【SRTの伸び】            |
| ○ 自分や友達を大切にしている子ども       | 【学校多面的アンケート学校満足度向上】 |
| ○ 周りの子を大切にできる言葉遣いができる子ども | 【総合評定3. 5】          |
| ○ 立ち止まって気持ちのよい挨拶ができる子ども  | 【総合評定3. 5】          |

### (2) 具体的な取組

- ア 学級活動、特別支援教育、総合的な学習、体験活動の充実
- 自主的・自発的な力を伸ばす年間12～15時間の学級活動(1)の実施と係・集会活動の充実
  - 支援児童に対する個別の教育指導計画等の改善を目指す校内委員会の充実
  - SDGs教育推進に向け、年間を通した学年ごとの体験活動(地域のひと、もの、こと)の実施
  - 一人一鉢の水やり、草取りや栽培活動の充実
- イ 道徳教育と生徒指導の充実
- 一時間一時間の積み重ねを大切にする道徳科の充実
  - 子どもへの「ほめ言葉のシャワー」による積極的生徒指導の実践
  - アンケート等によるいじめ・不登校0運動の推進
  - 年3回の児童一人一人への教育相談の実施

## ▼3 鍛え合う子どもを育てる教育活動

### (1) 到達目標

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| ◎ 互いに鍛え合う子ども        | 【総合評定3. 3】   |
| ○ きまりを守り、感謝する子ども    | 【総合評定3. 5】   |
| ○ 体力を高めている子ども       | 【体力テスト記録の伸び】 |
| ○ 腰骨を立てて読書や学習できる子ども | 【総合評定3. 5】   |
| ○ 黙働掃除をすることができる子ども  | 【総合評定3. 5】   |

### (2) 具体的な取組

- ア 体育・スポーツ活動の充実
- 毎日の3校時開始前の黙想と昼休み後の腰骨タイムや、隔月週1回の「舞の里体操」と「リズムジャンプ」の実施
  - 外遊びの奨励と体育教室の推進
  - 芝生におけるドッジボールなどのスポーツ大会や持久走、長縄大会の実施
  - 土曜授業における持久走大会の実施
  - 体力アップシートの活用とスポコン広場の促進
- イ 食育の推進
- きまりを守り、社会性や感謝の心を育む給食の時間の充実
  - 「早寝、早起き、朝ご飯、親子でチャレンジ」の取組による生活習慣等の評価・改善
- ウ 命を守る指導
- 生命誕生と性の多様性、3.11集会、非常災害時想定引き渡し訓練、熱中症対策や新型コロナウイルスの感染予防対策等の実施
  - 救急救命とAEDの使い方や着衣泳、薬物乱用防止講習会の実施

- エ 掃除指導の推進
- 掃除前の黙想から掃除時間の黙働掃除実施とぞうきんの使い方、ほうきの使い方の指導
- 靴箱への靴そろえや傘立ての使い方、しまい方の日常的指導

## IV 重点目標達成のための組織運営、研修活動、家庭・地域との連携

### ▼1 組織運営の工夫

- 職員の一人一人のよさがいきる分掌組織の工夫と舞リーダーズ・ミーティングによる評価・改善案立案（PDCA サイクルによるミーティングの機能化）及び舞の里小教職員仕事の基本「舞ティチャー」実践の徹底
- 人権教育の視点に立ついじめ防止基本方針に基づいたいじめ防止対策委員会の充実
  - ・いじめ、不登校、虐待の早期発見と確実な対応及び教育相談の充実
  - ・配慮を要する子の実態把握と担当者、連携組織等の確認と取組の共通実践の促進
- 子どもの主体性や創造力を伸ばす意図的、計画的、組織的な取組
- 特別に支援を要する児童に対する教育相談・支援体制の確立と特別支援教育校内委員会とケース会議の充実
  - ・就学指導相談、個別相談、ひまわり教室巡回相談との相談活動の強化
- 児童の意欲を喚起する環境構成の工夫や、教室等の整理整頓の充実
  - ・学びや学級づくりの足跡や学級活動コーナーの充実
  - ・資料センターとしての図書館の環境整備の充実
  - ・パソコンや電子黒板等の ICT 環境の 80%以上の活用
  - ・芝生運動場の有効活用や元気に外で遊ぶことのできる安全な活動の場の整備
  - ・英語専科教員を中心とした外国語活動・外国語科の推進
  - ・日本語指導教員を中心とした日本語能力に応じた日本語指導と環境整備
- 古賀市教育委員会との連携と人的配置の有効活用

### ▼2 研修活動の工夫

- 学びをはたらかせる子どもを育てる算数科学習指導を中心とした主題研究の充実
- ★人権教育や特別支援教育、ICT 活用、道徳教育、不祥事防止徹底（コンプライアンス）など学校の課題に対応した一般研修の計画的な実施

### ▼3 家庭・地域との連携の充実

- 舞の里小学校コミュニティ・スクールの推進
  - ・舞の里校区教育推進協議会（学校運営協議会）と連動する教育活動の改善・充実
- 芝生を使った特色ある活動の推進→舞の里フェスタ、親子芝生整備、芝生集会等
- ビオトープの環境整備、花壇やプランターの整備と芝生運動場の維持管理
- 家庭と連携した防災教育の推進→引き渡し訓練実施
- 地域への学校開放の促進→図書室の開放、毎月 1 週間実施の舞 show 美術館開放
- Facebook による地域への情報発信（週 3 回以上更新）